

# 特別養護老人ホーム晃風園ぬくもり

## 運営推進会議 会議録

■ 日 時：平成30年5月23日（水）、15:05～16:00

■ 場 所：晃風園ぬくもり地域交流室

■ 出欠の状況：運営推進会議構成員（4名出席）

深見大和地区社会福祉協議会顧問

深見大和地区民生委員児童委員協議会委員

島津自治会長

あゆみの会役員

深見大和地域包括支援センター

施設職員（4人）

和田紀子（施設長）

和田成生（施設長代理）

川邊義和（参事）

田邊利保（書記）

■ 運営推進会議の概要

1 会議の開会

- ・施設長あいさつ後、和田施設長代理が議長となり会議を進行。

2 議 題

（1）非常災害対策計画に基づく避難訓練の実施結果報告

○川邊参事から報告

- ・非常災害対策計画に基づく春の訓練を4月26日の午後に実施。
- ・水害避難ということで、栄養係の避難物資（食材・非常食等）を1階から2階に運ぶ訓練を行った。
- ・物資を入れた段ボール箱を一人で運ぶと66分30秒、1時間を要する事が確認された。
- ・反省点と課題等については、保管庫の鍵の管理方法について、鍵の管理を事務所の他に食品庫近くでの管理も検討した方が良いとの問題提起があった。
- ・境川の水位については、今回は町田市小山町付近の高橋という橋のモニターで確認した。
- ・これからは情報の見方を2階、3階の職員にも少しずつ広げて行き、もう一つは入手した情報をどのように活用していくのか、明確化していく必要がある。

○田邊書記から報告

- ・消防計画に基づく夜間想定避難誘導訓練を15時20分から45分の間で行った。訓練にはご利用者12名の方に参加していただき、3名の職員で行った。
- ・地域協力者として、島津自治会長にご協力いただいた。
- ・反省点、課題等については、独歩利用者の避難誘導方法の再検討と独歩可能なご利用者さんの安全確保等についての再検討、迅速かつ安全にご利用者さんを避難誘導

するための行動連携、防火戸閉鎖要領の会得があげられた。

- ・ 4 番の散水栓、消火器使用訓練については、避難誘導訓練を担当した職員の他に 5 名の職員が参加した。
- ・ 初期消火の初動が大切なので、出来る限り職員に体験してもらい、いざという時に役立ててもらいたいと考えている。

(質問・意見等)

委員から散水栓の設置個所、防火戸の操作及び職員教育の必要性について意見が出された。

## (2) 農園カフェの活動状況

○川邊参事から稼働状況報告書をもとに報告

- ・ 社会福祉法人徳寿会が地域に貢献し役に立つため、土地を借用して野菜を作り、収穫した野菜で料理し、対象の方々を招いて召し上がっていただく事業を計画してきた。
- ・ 相談役、農園リーダー、カフェリーダーにご指導をいただいている。
- ・ 4 月に入って相談役とリーダーの会議、4 月 20 日に支援者懇談会を開き、農園カフェの趣旨を説明。
- ・ 5 月に入り畑にトマト、キュウリなど約 40 本を超える数の苗を植えた。
- ・ カフェの方は、軽食を第 1 週の金曜日の 3 時から 4 時の予定で、まず 7 月 6 日からスタートしようと思っている。
- ・ 農園の方は今後水遣り、追肥、草取りなど予定されているが、ぬくもり全体で職員がしっかり支えられるよう、その環境整備を皆さんと共有できるようにしていきたい。
- ・ カフェに来ていただく方は、最初は 10 人前後でスタートしていきたい。声掛けの手順、方法は自治会長さんはじめ他団体の代表者の方々に伺いながら段取りをしていきたい。

(質問・意見等)

委員から農園カフェに対する期待、カフェに招待する方の声掛け先、新たなボランティアの協力要請について質問、意見が出された。

## (3) 行事の報告と今後の予定

○和田施設長代理から報告。

- ・ 4 月上旬にお花見、4 月 26 日には災害対策訓練、夜間避難誘導訓練を実施した。
- ・ ゴールデンウィークにはご家族と一緒に出かけをされて、お家に泊まられたり外でお食事をされたりする利用者さんが、今年は比較的多くいられた。
- ・ 5 月 16 日に「おひさまのほっぺ」という保育園から園児が約 30 名来られて、歌など披露してくれた。
- ・ 6 月 10 日に大和市少年消防団が施設見学、車いす体験、車いす用送迎車の体験、ご利用者と交流するという企画を予定している。
- ・ 6 月 11 日から 22 日まで瀬谷養護学校の生徒 3 名が実習を行う。
- ・ 前回の会議以降、4 名の方が入所され、現在 1 室空いている状態。

#### (4) 平成29年度事業報告及び決算報告

○和田施設長代理から資料を基に報告。

- ・月別利用状況は目標値を98%に設定していたが、結果は平成29年度は81%となっている。7月までユニットを縮小していたことが利用率の数字にも表れている。
- ・利用者介護度状況は28年度が平均介護度3.95であったが、平成29年度は4で少しずつ数字があがっている。重度の方がそれだけ増えているといえる。
- ・エリア別の入所待機者では深見エリアは少ない。深見東は新しい住宅が多かったりするのではゼロである。
- ・短期入所は目標値96%に設定したが、結果は83.4%で、こちらも7月までユニットを縮小していた影響があり、例年と比べ大分厳しい数字となっている。
- ・今年度、4月5月と28名できているので、出足としてはまあまあ良いかと思う。

(質問・意見等)

委員から短期入所、長期入所の縮小期間の理由について質問あり。

#### (5) その他

○和田施設長代理から報告

- ・運営推進会議をグループホームと合同開催できないか市に問い合わせたところ、施設の種類が違って合同開催できるか国へ確認しているとのことであった。
- ・ぬくもりとグループホームの合同開催が可能であれば、今年2～3回は合同で開催していきたいと思う。

(会議全体を通しての質問・意見等)

農園カフェについて意見交換、情報交換があり、深見大和地域包括支援センターでは農園カフェに参加したい意向があるとの話、委員からは農園カフェに協力したいとの意見、また、農園カフェに期待する意見が再度出された。

## 4 閉会

次回会議の日程の確認と出席をお願いして閉会。